

SHINSHU

SUZAKA

2023.10.1

須坂の 町並み だより

No.22

伝統的建造物群保存地区の都市計画決定 と 須坂の魅力紹介「乳鍵」

1 伝建地区の都市計画決定について

須坂の伝統的な町並みを後世に残すべく、2017年から伝統的建造物群保存対策調査を開始し、2020年には保存対策調査報告書を刊行、2021年には保存条例を策定するなど、これまで重伝建選定を目指し、取り組みを進めてきました。

振り返れば、須坂の重伝建選定を目指した取り組みは昭和60年代から始まりましたが、30年以上の長い取り組みを経て、2023年9月28日に伝建地区を決定することができました。伝建制度にご賛同・ご協力いただきました地域の皆様のおかげでここまで進めてくることができました。大変ありがとうございます。

伝建地区決定により、重伝建選定に向けた手続きも残りわずかとなってきましたので、都市計画決定の内容と重伝建選定に向けたスケジュールを改めてお伝えします。

(1) 都市計画決定について

伝建地区の決定には、都市計画法に基づく都市計画決定が必要となることから、市の都市計画審議会を経て、「須坂伝統的建造物群保存地区」として伝建地区を決定しました。(範囲は裏面をご覧ください。)

また、町並みを保存する観点から、伝建地区範囲と交わる都市計画道路(山田線・八町線・飯山線)については一部計画を廃止・変更しました。ただし、伝統的な町並みの保存と活用を推進するために必要となる道路整備等は引き続き行っていきます。

(2) 重伝建選定に向けたスケジュールについて

2020年 7月	保存対策調査報告書 刊行
2021年 8月	須坂市伝統的建造物群保存地区保存条例 制定
2023年 3月	特定物件の同意取り 開始
2023年 9月	伝統的建造物群保存地区 都市計画決定
2023年 11月	保存活用計画 策定・告示【予定】
2023年 12月	文化庁へ 重伝建地区選定 申出【予定】
2024年	重伝建地区 選定・告示【予定】
	重伝建制度を活用したまちづくりの推進

現在

裏面へつづく



2 須坂の魅力紹介「乳鍵」

須坂の伝統的な建造物は「土蔵造」と呼ばれる店舗や主屋が多くを占めており、中塗り仕上げの茶色い外壁や白漆喰仕上げの白い外壁が町並みを形成しています。これらの建造物をよくみると、まんじゅう型に盛った漆喰に折れ釘を刺す建造物が散見されます。これは、一般的に「まんじゅう（つぶ）」と「折れ釘」と呼ばれますが、須坂では「乳鍵」（ちちかぎ・ちかぎ）と呼ばれています。「乳鍵」は、修理や左官を行う際の足場の固定などに利用されたといわれますが、土蔵造の外壁に整然と並ぶ様子は大変美しく、装飾のひとつとしても重要な要素となっています。土蔵造をはじめ、須坂の建造物は乳鍵以外にも興味深い装飾が様々ありますので、いろいろ観察してみると面白いかもしれません。



約7割の皆様は特定物件のご同意・ご協力をいただいております。大変ありがとうございます。伝建地区決定、重伝建選定はゴールではなくスタートラインに立ったにすぎません。これから伝統的建造物の保存・活用を進めるとともに、地域の皆様が住みやすい、より良いまちづくりを目指して取り組んでいきましょう。よろしくお願いいたします。

編集・発行・問合せ
 須坂市 社会共創部 文化スポーツ課
 重伝建推進係 担当：寺沢、小西
 ☎026-248-9027

これまでの記事はこちらから

